京都橘大学 公開講座 | KYOTO TACHIBANA UNIVERSITY

変化を楽しむ人であれ 京都橘大学

生成AI × 著作権

～アニメの現場を参考に「声の著作権」を考える～（全６回）

●期間：9/26(土)～12/12(土) 13：20～15：00 ／●場所：京都橘大学

GUEST SPEAKERS 登壇者 全6回

第１回
2026年9月26日（土）【AIとアニメ】



日本のアニメの強みと課題

福宮 あやの
（声優）

第２回
2026年10月10日（土）【AIと声①】



音声AI技術の最前線

中村 泰貴
（AI開発研究者）

第３回
2026年10月31日（土）【AIとタレント①】



タレントビジネスと
AIの共存に向けて

山本 正晃
（AI事業会社役員）

第４回
2026年11月21日（土）【AIと声②】
魂を吹き込む―声優という仕事とAI



甲斐田 裕子（声優）

NEW



咲野 俊介（声優）



田邉 幸太郎（弁護士）

第５回
2026年11月28日（土）【AIと声③】



AIとの共存の可能性
―多言語化が生む未来

久保 雅一
（プロデューサー）

第６回
2026年12月12日（土）【AIとタレント②】
アナウンサーとAIの共存に向けて



井手口 悦久（プロデューサー）



谷尻 萌（フリーアナウンサー）

受講者 募集中！

■日程：2026.9/26(土)～2026.12/12(土)
■受講料：2,000円(各回)/ 10,000円(一括)
■購入方法：下記2次元コードから(Peatix)
参加者にはオリジナルグッズプレゼント！

アクセス

■ JR山科駅から京都橘大学



■ 地下鉄椥辻駅から京都橘大学



〒607-8175 京都府京都市山科区大宅山田町34
■最寄りのバス停「大宅（おおやけ）」または「大宅甲ノ辻（おおやけこうのつじ）」下車／徒歩5分
■京都市営地下鉄東西線「椥辻駅」下車／徒歩約15分
■JR琵琶湖線「山科駅」下車／バスで16分
https://www.tachibana-u.ac.jp/about/campus/access.html
※詳細は右の2次元コードから

京都橘大学 公開講座 「生成AI × 著作権」

～アニメの現場を参考に「声の著作権」を考える～　（全６回）

OUTLINE ｜ 概要

生成AIは急速に発達し、いまや文章だけでなく、動画・画像・音声までも高い精度で生み出せるようになりました。便利になる一方で、その出力は創作活動を営む人々の権利に影響を及ぼし始めていますが、ルールや制度の整備が追いつかず、社会的な課題となっています。本講座では、比較的身近なアニメの現場を入り口に、AIやアニメ業界の第一線で活躍する実務家の声を聞きながら、生成AIと著作権・創作の関係を多面的に理解していきます。

GUEST SPEAKERS ｜ 登壇者プロフィール

第1回　9/26（土）13:20–15:00　【AIとアニメ】日本のアニメの強みと課題



福宮 あやの　声優／日本アニメフィルム文化連盟 事務局長

声優・俳優として活動する一方、日本アニメフィルム文化連盟（NAFCA）事務局長として人材育成やクリエイターの権利保護などアニメ業界の持続可能性を高める活動に取り組む。「アニメータースキル検定」のテキスト執筆も担当。

第2回　10/10（土）13:20–15:00　【AIと声①】音声AI技術の最前線



中村 泰貴　Parakeet株式会社 代表取締役CEO

音声合成・音声変換（AI音声）分野で国内トップクラスの研究者。Parakeet株式会社の創業メンバー兼CEO。超低遅延で自分の声を別人の声に変換するリアルタイム音声変換システム「Paravo」などの最先端AIサービスを展開。

第３回　10/31（土）13:20–15:00　【AIとタレント①】タレントビジネスとAIの共存に向けて



山本 正晃　ニューラルグループ株式会社 取締役

AI・最先端技術の社会実装を牽引する実業家。デジタルサイネージやAIと共存するタレント事業を展開。生成AIの啓発にも関心を持ち、日本音声AI学習データ認証サービス機構の理事も務める。

第４回　11/21（土）13:20–15:00　【AIと声②】魂を吹き込む―声優という仕事とAI



甲斐田 裕子　声優（賢プロダクション所属）

『薬屋のひとりごと』阿多役、『SPY×FAMILY』シルヴィア役ほか多数。アン・ハサウェイ等の吹き替えも継続担当。声優の声が無断でAIに学習・悪用される現状に問題提起している。



咲野 俊介　声優（大沢事務所所属）　NEW

舞台や映像作品で活動を開始。吹替ではパトリック・ウィルソン、ベン・アフレック、マーク・ウォールバーグ、イーサン・ホークなど、数多くのハリウッド俳優の声を担当。「クリミナル・マインド FBI 行動分析課」のデレク・モーガン役や、「攻殻機動隊」シリーズのイシカワ役など、海外ドラマやアニメでも幅広く活躍。近年は「機動戦士ガンダムサンダーボルト」TV エディションのグラハム役、「リヴァイアサン」のヴォルガー伯爵役などを務める。



田邉 幸太郎　弁護士（三村小松法律事務所 パートナー弁護士）

アニメ・キャラクター等の知的財産（IP）法を専門とするパートナー弁護士。元内閣府知的財産戦略推進事務局参事官補佐。予防法務と政策提言の両面からAI時代の知財法務に取り組む。

第５回　11/28（土）13:20–15:00　【AIと声③】AIとの共存の可能性―多言語化が生む未来



久保 雅一　声の保護と多言語化協会 代表理事／（株）area358 代表取締役社長

元小学館 取締役。「コロコロコミック」編集部で「ミニ四駆」ブームを牽引し、アニメ「ポケットモンスター」の立ち上げに携わる。「声優アワード」運営にも長年尽力し、声優業界の発展に強い関心を持つ。

第6回　12/12（土）13:20–15:00　【AIとタレント②】アナウンサーとAIの共存に向けて



井手口 悦久　EDENA株式会社 代表取締役CEO／株式会社セント・フォース プロデューサー

元ソニー・ミュージックエンタテインメントPD。宇宙感動体験PJ「STAR SPHERE」、新感覚音響技術「Sound AR」のエンタメ活用等を手掛ける。近年は対話AIの個性化基盤の開発に注力。



谷尻 萌　株式会社セント・フォース フリーアナウンサー

キャスター・タレントとして活躍し、朝の情報番組「めざましテレビ」のお天気キャスターを務める。テレビ、ラジオ、イベント出演など幅広く活動し、爽やかな笑顔と知性を兼ね備えたキャスターとして、多方面で活躍の場を広げている。

コーディネーター



倉田 宜典　京都橘大学 工学部ロボティクス学科 教授／日本音声AI学習データ認証サービス機構 代表理事

ソニーにてロボット「AIBO」「QRIO」等を開発。音声AIを活用した「めざましマネージャーアスナ」で100万DLを達成。20年以上のAI開発経験からAI著作権問題の解決に取り組み、2024年に同機構を設立。

変化を楽しむ人であれ 京都橘大学
京都橘大学 教学事務部 教務課 TEL:075-574-4324／MAIL:aca@tachibana-u.ac.jp